

製造業における AI・ロボット技術活用の潮流

～欧米の先進動向にみる新たな事業機会～

—講師—

株式会社野村総合研究所 コンサルティング事業本部

グローバル製造業コンサルティング部 シニアコンサルタント 加藤 駿 氏

日時 2026年5月27日(水) 午後1時～3時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

近年の国際的な技術展示会等における活況も一例に、製造業では Physical AI(フィジカル AI)やヒューマノイドの実用化への期待が熱を帯び、AI 技術の活用領域が製品開発や設計プロセス、製造現場へと急速に広がりを見せている。製造業における IT 投資・設備投資はいま、従来の DX から、AI・ロボットを前提とした次のフェーズへの重要な転換点にあり、また、これらの環境変化は日本の製造業にとって新たな価値の創出・事業機会の実現に向けた好機ともなる。

本講演では、欧米の先進プレイヤーの動向等に基づき、日本の製造業が足元から取り組むべき活動の方向性を提示する。

1. AI・ロボット技術の進化と製造業への影響
2. 製品開発・設計への AI・ロボット技術活用の動向
3. 製造現場への AI・ロボット技術導入－製造業に求められる DX の次の一手
4. 製造現場への AI・ロボット技術導入－日本企業にとっての新たな事業機会
5. AI・ロボット技術活用による企業成長に向けた構造改革の必要性
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 加藤 駿(かとう しゅん)氏

自動車メーカー入社、技術開発戦略等に従事。

株式会社野村総合研究所 入社。

専門テーマ:経営/事業戦略、研究開発マネジメント、新規事業、業務改革・DX。専門業界:自動車・自動車部品、電池 等。

